

京都市西京区「ふらっと・西京」第2回開催後コメント

今瀬政司（京都経済短期大学准教授／NPO 法人市民活動情報センター代表理事）

◎テーマ「自治会員を減らさない取組みと工夫」について

- ・日常的な会員減少防止対策とともに、自治会役員の世代交代、若手などへの引き継ぎのタイミングと方法（現役員の引き方、新たな担い手へのチャレンジ等）がカギを握ると思われま

◎テーマ「ギネス世界記録あなたは参加」について

- ・非日常のイベント開催においては、その事前準備、実施運営、成果活用の各段階において、日常のまちづくりとどのようにリンクさせ、直接・間接の波及効果をもたらすかが課題になると思われま

◎テーマ「阪急高架下がこんな風になったらいいな」について

- ・高架下活用の担い手、利用者は誰なのか、近隣住民なのか、遠方からの鉄道利用者なのかなど、ターゲットを明確にすることが課題となります。
- ・また、地元地域の方々との利害関係（利便性、騒音等）をあらかじめ想定して、話し合いを重ねることが重要になると思われま

◎テーマ「市バスの新ルート開設」について

- ・市バス（公共交通）のルート開設・変更等では、様々な利害調整、財政、条件整備等が課題となります。
- ・一方、市バスの運営側は利用者である市民の意識・動向把握が難しく、市民側はバス運営に当たっての難しい諸事情の情報を知らないことが課題となっていることが多いです。そうした互いの課題を知り合い、話し合い、「協働」で解決していくことが重要になると思いま

◎テーマ「犬の正しい飼い方の普及啓発活動、犬同伴の場所、使用できる場所」について

- ・犬の飼い方に関わる問題については、飼っている人と飼っていない人との間の意識やライフスタイルのずれ違いがどうしても出てきます。犬を飼っている人で集まる機会も大事ですし、飼っている人と飼っていない人がお互いの思いや事情を知り合う機会づくりをしていくことも重要だと思いま

◎テーマ「老化防止する為、スポーツで健康地域活動」について

- ・ボランティアによるサークル活動として、誰もが気軽にできやすい取組みだと思われま

◎「ふらっと・西京」の進め方への意見について

- ・「ふらっと・西京」の進め方についてのご意見が多くありました。進め方がどんどん良くなってきているのご意見、各テーマの「ふらっとトーク」の参加人数が多すぎるとして適正化を求めるとのご意見、時間をもっと長くして欲しいのご意見、いろいろな方の考えが聞けて話し合えて良かったのご意見、等々です。好意的なご意見とネガティブなご意見の両方がありますが、それらは、「ふらっと・西京」を通じて、西京区のまちづくりをより良くしていきたいとの思いが多くの方に共通してあるからで、良いことだと思いま
- ・そして、さらに欲を言えば、「ふらっと・西京」あるいはそれに類似した取組みの運営を市民の参加者の方々ご自身が担ってやろう、というような動きにつながっていくとさらに素晴らしいと思いま